

# 小施策評価シート (平成 28 年度実績評価)

施策コード	26	施策名	都市基盤施設の維持・強化		
小施策コード	26-4	小施策名	都市緑化の推進		
小施策 主管課等コード	092000	小施策 主管課等名	公園みどり課		
評価責任者名	佐竹 克也		内線番号	7260	
評価シート作成者名	森 勝利		内線番号	7261	

## Step 1 施策目標の達成状況

まちづくり指標	目指す 方向	単位	25年度 実績 (当初値)	27年度 実績	28年度 実績	31年度 目標値	36年度 目標値
市道改良率*	↑	%	73.9	74.4	74.6	74.8	75.7
まちづくり評価アンケート調査「公園や街路樹などの街の中の緑が多いと思う」と答えた市民の割合	↑	%	74.2	74.7	78.1	80.0	80.0
水道管路の耐震化率	↑	%	23.3	24.9	25.5	29.6	34.6
汚水処理人口普及率（処理区域内人口/行政区域内人口）	↑	%	95.0	95.2	95.3	96.0	97.8
面的整備による生活環境整備率（整備済路線延長/整備計画路線延長）	↑	%	29.0	30.5	31.7	63.0	97.0

（↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていくことを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標）

\* 28年度に新しく追加した指標。

## Step 2 小施策の全体像

### 小施策の概要等（構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり）

対象（誰（何）を対象として行うのか）	意図（対象をどのようにしたいのか）
市街地, その他の市域, 市民・民間事業者	公共空間及び私的空間が緑化されている。
現状と課題	花と緑のガーデン都市づくり事業におけるハンギングバスケットについては、設置数日本一を継続するとともに、質の向上を図る必要がある。また、緑を創出するために公園と街路樹の適正な維持管理を行う必要がある。
取組の方向性	生活に緑とうるおいをもたらすために公園や街路等の公共空間の緑化を推進するとともに、適正な維持管理を行う。また、市民の緑化活動を支援するなど、私的空間の緑化を推進する。

## Step 3 小施策指標の推移

小施策の指標	目指す方向	単位	25年度実績 (当初値)	27年度実績	28年度実績	31年度目標値	36年度目標値
緑地推進制度の利用件数	↑	件	280	285	273	300	315

（↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていくことを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標）

## Step 4 市民ニーズの把握

盛岡市まちづくり評価アンケート（平成28年度実施）でも、盛岡の緑について約8割近い市民が街中に緑が多いと回答しており、緑地推進制度の利用も予算額以上の問い合わせがあることから、緑化に対する市民の意識が高まっていると共に、市民ニーズも高いことが伺われる。

しかし、公園や街路樹に対する要望や苦情は依然多く、公園や街路樹の維持管理における市民ニーズに対して十分な対応が出来ていない状況である。

## Step 5 役割分担分析

### 1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担比率 (%)
各主体の 役割の状況	市	<p>街路事業や土地区画整理事業の推進により成果向上を図るとともに、市街地に潤いを与え、良好な景観を構成する街路樹の適正な剪定作業に努める。</p> <p>「緑が文化になるまち盛岡」の実現に向け、公共空間の緑化とともに私的空間の緑化を推進する必要がある。</p> <p>また、市街地に花と緑があふれ、良好な景観が形成されるよう、市民が日常生活の中で、緑を守り・育て・親しむための活動を支援する。</p>	50
	国・県・ 他自治体		
	市民・ NPO	<p>幹線道路の植樹柵や、支援制度を活用した緑化箇所の除草、清掃等を行うなど、地域住民にとって身近な緑は、地域住民が自ら維持管理に努める。</p> <p>支援制度を活用した緑化箇所の除草、清掃等を行うなど、日常的に親しむ身近な緑を適正に維持管理する。</p>	30
	企業・ その他	<p>各種事業所は、地域に根ざした社会貢献活動の一環として、身近な公園等の維持管理や再整備などに積極的に参画する。</p>	20

### 2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

（理由）

身近な緑は地域住民が自ら維持管理に努め、その活動を市が支援することにより、適正な管理と日常的な楽しみに繋がる。

また、各種事業所も参画してもらい、地域に根ざした企業として積極的に活動してもらうことを目指しているため。

## Step 6 前年度に分析した課題・改革改善案に対するアクション

### 1 平成28年度に分析した問題点・課題に対する改革改善案

公民連携による公園整備や利活用を推進する。

### 2 1の改革改善案の実施状況

(A：着手済, B：平成29年度に着手(予定含む), C：未着手または見送り)

改革改善案	具体的な取組(予定)内容	状況
公民連携による公園整備や利活用の推進	公園活性化プランの募集	A

### 3 2で挙げた取組状況がCの場合、その原因

## Step 7 成果・問題点の把握

### 1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策の中で成果をあげた点

グリーンバンクからの支援も受け実施した花苗の配布等により各町内の緑化が図られたほか、企業や住民の協力によりハンギングバスケット設置数も日本一となっている。

#### (2) 成果をあげた要因

- ・ 緑花まつりやハンギングバスケットフェア等のイベントにより緑化に対する意識啓発を行った。
- ・ 町内会等による花植えや公園管理により緑化に対する意識が向上している。

#### (3) さらなる成果向上に向けた課題(課題がある場合に記載)

- ・ 市民がより緑化に取組みやすくするために、市としての支援が必要。
- ・ 公園等の維持管理についても、市として行わなければならない部分については、確実に実行しなければならない。

### 2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策における現状の問題点

公園等の緑化活動を行なっている市民への支援や、施設の補修や更新が不十分である。

#### (2) 現状の問題点が生じている原因

社会経済状況の悪化による予算確保が困難なため。

#### (3) 分析した原因の解決に向けた課題

新たな財源確保と、市民・事業所・団体等が協働で緑のまちづくりを行う仕組みづくりの検討を行う。

## Step8 小施策と構成事業の関係性

- 1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業  
該当事業なし。
- 2 1で記載した事業についてその理由
- 3 1で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）

## Step9 Step7, 8を踏まえた改革改善案

予算の確保及び公民連携により利活用を推進し、緑化意識の向上を図る。